

都市計画マスター  
プラン  
立地適正化計画  
策定のための

# 「第6回（最終）市民会議」 を開催しました！

千歳市では、今後の市民生活や産業活動を支える市街地・都市基盤などの「都市計画」に関して新たな計画（都市計画マスタープラン、立地適正化計画）を策定するため、将来に向けた都市づくりを皆で話し合う『市民会議』を開催しています。

10月25日（月）に最終となる第6回市民会議を開催し、第5回の意見を反映した「まちの発展と住みよさが続くための検討テーマに関する提言書」の修正案についてご意見をうかがいました。



各委員のご意見をまとめると、以下のとおりとなります。

## 「まちの発展と住みよさが続くための提言書（修正案）に対する意見

検討テーマ	意見
②市街地の資源（千歳川、道の駅等）をもっと活かすには？	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界遺産に登録されたキウス周堤墓群については、いまだに水道も電気も通っていない。人が訪れる場所として周辺のインフラ整備も含め、早々に取り組むべきであることを提言書にも盛り込むべきである。</li><li>・道の駅の駐車場について。5月の下旬など混雑時は住吉グラウンドを臨時駐車場としているが、未舗装で雨天時はぬかるみで足元が汚れやすく、駐車場付近は渋滞などで苦情も寄せられている。改善策として交通公園を住吉グラウンドに移設し、交通公園の敷地を駐車場にできないか。また、このようなもっと明確な内容を提言に盛り込めないか。</li><li>・京都などでもこのような混雑は観光公害として扱われ、地域に寄り添ったより良い環境を提供するのは世界的な流れとなっている。地域に配慮した、観光公害にならないような環境づくりとして盛り込むよう検討ができないか。</li></ul>
⑩子育てしやすいまちづくりを進めるには？	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍でイベントや行事が減った影響で、子ども達が誰に会いに出かけるのか、顔が見えず分かりづらくなっている。日頃からのイベントやコミュニティ活動の場づくりは、子育てに関しても重要である。</li></ul>



ここでいただいた意見を反映し、座長の確認を経て市長に提言する旨了承を得ました。